

外国語活動学習指導案

東大阪市立長瀬西小学校 教諭 阿部 圭

東大阪市立柏田中学校 教諭 藤森 恵理

ALT Samantha Dauphinais

Jillian Woo

1. 日 時 2014年1月30日(木) 第6時限(14:35~15:20)

2. 学年・組 第6学年1組 (27名)

3. 場所 柏田中学校 3年1組教室

4. 単元名 昔話を伝えよう!

5. 単元の指導目標

- ・英語の昔話を聞き、日本の昔話を英語で表現する。
- ・外国の昔話と日本の昔話の違いや類似に気付く。

6. 授業にあたって

(1) 児童について

「6年はひとつ」という学年目標の下、ミニバスケットボール大会や運動会、修学旅行など数々の行事では子どもたちで実行委員会をつくり、自主的な活動となるように工夫し、達成感を味わえるように取り組んできた。課題にぶつかりながらも、それぞれの行事を通し、目標に向かってよりよい活動をしようと、徐々に心をひとつにすることができている。

授業では、積極的に自分の考えを発表できる子がいる一方で、手を挙げて発言するのに消極的な子も少なくない。発表ができたとしても、自分の考えに自信が持てないためか声が小さく、伝えたいことが相手に十分に伝わっていない時もある。また、集中力が持続しにくいいため、課題をすぐに諦めてしまう場面も見られた。そこで、どの教科でもグループ学習を取り入れてグループの話し合いの時間を取るようにした。

話し合いでは必ず自分の考えを発表することや、しっかり友だちの考えを聞くといった約束をつくった。また、わからないということも立派な意見であること、考えがまとまらなくても途中までの考えも大切にすることなどを初めに子どもたちに伝えた。そうすることで、より自信を持って発言したり、普段自主的に発言したりできない子もグループ内では発言する姿が見られるようになってきた。

また、グループ学習の前には必ず1人学習の時間を取ることで、その時間は集中して課題に向き合うことができるようになってきた。今では日々のグループ学習を通して友だち同士のつながりが深まってきたように感じる。

今後はその雰囲気クラス全体のものとしていき、友だちとつながる楽しさや大切さを実感することができるよう支援していきたい。

(2) 単元について

本単元は簡単な英語やジェスチャー、豊富なイラストで、昔話の内容を英語で伝えるものである。

他者に物事を伝えようとする時、言葉以外にも伝えやすくするための手立てがある。今回は「ALTに日本の昔話を伝えよう」という目標を置いて、簡単な英語とジェスチャーや小道具を使って、グループ毎に発表する。昔話を上手に使いながら、どうすれば伝わりやすいか、道具やジェスチャー以外にも、声の抑揚などにも気を配れるように促しつつ、学習していく。

(3) 単元の評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現への 慣れ親しみ（伝える）	外国語表現への 慣れ親しみ（わかる）	言語や文化に関する 気付き
昔話を積極的に伝えよ うとしている。	英語で、昔話を伝えよ うとしている。	話される昔話の内容を 聞き取ろうとしている。	外国の昔話と日本の昔 話の違いや類似に気付い ている。

(4) 単元の指導計画（全3時間）

- 第一時 英語の昔話を聞き取り、内容に興味を持ち、その概要を理解する。
 第二時 英語を使って、日本の昔話をわかりやすく伝えようとする。
 第三時（本時） 日本の昔話を ALT に伝える。
 他のグループの話聞き取り、伝わりやすい伝え方について考える。

7. 本時の目標（第3 / 3時間目）

- ・ALT に日本の昔話を伝えよう。

8. 本時の展開

	児童の活動	指導者の活動	指導上の留意点
導 入	1. あいさつをする。 2. ALTの自己紹介を聞く。 3. 本時のめあての確認	○あいさつをする。 ○ALTが自己紹介をする。	・伝わりやすさについて、 どういう所に気を付けられ ばいいか確認しておく。
展 開	4. グループごとに発表する。 ・小道具、ジェスチャーなどを使 ってALTにグループ独自の昔話 を伝える。 ・よかったグループ、わかりやす かった工夫について感想を言う。	○ALTと教師から、内容や工夫につ いての講評を行う。	・英語らしい発音をめざ し、文中の発音の強弱に 注意するよう促す。 ・うまく発表できたらほ める。
ま と め	5. 振り返りシートを記入する。 ・発表する時にうまくいったこと、 難しかったことを日本語で記入す る。 6. あいさつをする。	○終わりのあいさつをする。	・振り返りシートを記入 させる。 ・他のグループのいいと ころをできるだけたくさ ん書かせるようにする。